みやぎの創造へ

宮城県知事を囲む産官懇談会

ごあいさつ

経済的発展が最優先課題

宮城県知事　村井　嘉浩氏

皆さんこんにちは。本日は宮城産業人クラブの会員企業の皆さま、そして日刊工業新聞社及び大学、産業支援機関などの皆さま、このような機会を設けていただきまして誠にありがとうございます。今回の産官交流懇談会も2年ぶりの開催となり、皆さまの元気そうなお顔を拝見できましてうれしく思います。

昨年の今頃を振り返りますと、震災の後で、全く暗闇の中にいるような状況でありました。そうした中ですが、平成7年の阪神・淡路大震災の状況を確認いたしましたら、大きな被害を受けたのが当時非常に力のあった兵庫県、神戸市ということもあり、国の財政的な支援は5年間で打ち切られたということでした。そうしたことで、いまだに兵庫県も神戸市も大変な苦労をしているということです。また、「特区」が何ひとつ認められなかったために、新たな時代に向けた思い切ったまちづくりができなかったということでした。

私は、宮城県がそのようになってはいけないと思いまして、昨年の今頃は何度も国に足を運んで、財源の確保と新たな規制緩和の特区制度について要望を重ねました。また、要望だけでなく、宮城県が何を考えているのかを国の動きに先だって示すべきだと思いまして、復興計画の策定を進め、昨年の今頃には復興計画のたたき台ができあがって、9月議会に提案するという段階にまでなっておりました。結果的にはこれらが功を奏して我々の描いた復興計画にだいたい基づいた形で国が制度設計をしてくれました。

私の県政運営の理念であります「富県共創！活力とやすらぎの邦（くに）づくり」ですが、震災を受けましてもこれを変えることは考えていません。理念はどんな時でも、どんな場合でも曲げてはならないものです。

つまり、宮城県が豊かになり、経済的に発展することによって活力とやすらぎのある県土をつくっていく、これが私の県政運営の理念でありますので、このような大震災の後であっても、本日お集まりのモノづくり企業の皆さまに頑張っていただけるような環境をしっかりつくること、皆さまにたくさん雇用していただけるような環境をつくることが、私の最優先課題だということに何ら変わりはありません。

本日は限られた時間ですが、そうした思いを伝えていきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

大震災からの早期復旧・復興に向けた支援策について

工藤電機会長　工藤　治夫氏

宮城産業人クラブ（工藤治夫会長＝工藤電機会長）は日刊工業新聞社と共催で、8月23日に「村井嘉浩宮城県知事を囲む産官懇談会」を仙台市青葉区のホテルメトロポリタン仙台で開いた。東日本大震災からの復興をテーマに、復興推進計画などの進捗状況や県内企業の自動車関連産業参入に向けた取り組み、被災企業への支援制度、県内中小企業の人材育成に対する支援策など、産業の一段の発展を目指す宮城県の対応について、村井知事らの考えを聞いた。

宮城県は東日本大震災から早期復旧・復興を目指した「復興特区法」の認定を受け、「復興推進計画」を策定し、積極的に展開しています。計画の内容や進捗状況についてお聞かせ下さい。われわれ産業界としても何か応援できることもあるとの思いもあり、質問させていただきます。

◇　◇

村井知事　復興特区制度について簡潔に説明させていただきます。今回特別に創設された復興特区は、対象となる地域は被災地のみですので、宮城県はその対象になります。手続・規制の特例の措置、税制・財政等の支援措置、国と地方の協議の場の設置もされる非常に恵まれた特例をつくっていただきました。

復興はスピードが欠かせません。柱は「復興推進計画」「復興整備計画」「復興交付金事業計画」の3本です。復興特区と言いましても3種類の計画があるということです。

具体的には復興推進計画では策定した計画が国から認められますと、工場立地法における緑地規制の特例など個別の規制・手続きの特例、税制上の特例措置などが認められるようになります。復興整備計画ですが、共通の特例としては、許可基準の緩和・許可手続きのワンストップ化などがあります。事業に必要となる複数の許可手続きをワンストップでの処理が可能になります。沿岸の14市町で順次、復興整備計画の策定が進んでいます。

また復興交付金事業計画ですが、これは交付金を受け取るための計画になります。

進捗状況ですが、税制特例の復興推進計画（ものづくり産業版）にかかわるものについては、現在119件・96社（平成24年7月末現在）がその指定を受けています。この機会に何らかの形で県内での事業拡張をお考えになるときには、ぜひ活用していただきたい。計画エリアは沿岸部だけでなく、ほぼ県全域となります。県内で新たにモノづくりの工場を立ち上げたり、増設する時にはご相談下さい。

事業拡張時に活用が可能

自動車産業への参入促進に向けた支援策について

岩機ダイカスト工業社長　齋藤　吉雄氏

今年7月にはトヨタ自動車東日本が誕生し、東北地域は自動車産業の第3軸として日本経済の新たなけん引役として期待されています。しかし中小企業が自動車産業に参入するには多くの課題を抱えているのが実情といえます。知事が掲げる「富県宮城」の実現に向けても、自動車産業への参入促進に向けた県の県内企業の新規参入と取引拡大は、地域産業の安定かつ持続的な発展を維持するためにも最重要課題と考えます。県内企業の参入促進に向けた県の支援策をお聞かせ下さい。

◇　◇

村井知事　トヨタ自動車東日本の発足は本当に大きなニュースでありまして、本社は宮城県の大衡村に置かれ、東北現調化センターをさらに充実させ、来春には「トヨタ東日本学園」も開校する予定です。また大和工場（旧トヨタ自動車東北）でエンジンも新たに作ることになりました。まずは組み立てを始めるとのことで、非常に勢いがある段階です。トヨタ自動車は、現在東北での現地調達率が約4割のところを、今後は約8割にまで引き上げる方針と伺っています。そうした状況の中で、県といたしましては、地元企業の皆さまにぜひ仕事を受注していただかねばならないと思っています。

そのための支援は三点考えております。一つ目はマッチング支援です。展示商談会の開催、取引あっせん、自動車産業の商習慣や技術トレンドに関するセミナーの開催などにより、まずは自動車産業との窓口をしっかり設ける支援を行っていきます。二つ目は技術支援です。自動車産業振興アドバイザーによる企業訪問、生産現場改善事業などにより、少しでも中小企業の技術力向上につなげていきたい。三つ目は人材の育成支援です。設計・開発系人材の育成支援が重要と考えています。学生向けにはカーインテリジェント人材育成センター事業を展開しており、継続していきます。こうした施策をうまく絡ませてしっかりとした成果を出していきたいと考えています。

窓口設け 成果へつなぐ

懇談会出席者

〈宮城県〉
宮城県知事　村井　嘉浩氏
経済商工観光部次長　宮原　光穂氏
富県宮城推進室長　日野　和典氏
新産業振興課長　吉田　信幸氏
自動車産業振興室長　髙橋　裕喜氏
産業立地推進課長　伊丹　相治氏
商工経営支援課長　冨田　政則氏
産業人材対策課長　三浦　卓　氏
雇用対策課長　本田　弘之氏

〈質問者〉
工藤電機会長　工藤　治夫氏
岩機ダイカスト工業社長　齋藤　吉雄氏
通研電気工業社長　小林　邦英氏
梶原電気社長　梶原　功　氏
三ツ引興業社長　三河　滋　氏
髙政専務　髙橋　正壽氏

〈日刊工業新聞社〉
専務　佐野　友昭
取締役東京支社長　石上　明男
司会＝仙台総局長　阿部　義秀

プラスチック射出成形のガス抜きピン　ガストース
株式会社プラモール精工
PLAMOUL
プラモール精工　検索
〒981-3351 宮城県黒川郡富谷町鷹乃杜4丁目3-5
TEL 022-348-1250／FAX 022-348-1244

第2回「みやぎ優れMONO」認定製品
ハイパワースイッチング電源［SPシリーズ］

◇1KW type ◇2KW type
◇3.3K～10KW type ◇10K～30KW type
半導体製造装置、液晶イオンドーピング装置、粒子線医療装置などに使用される定電流定電圧直流電源は高精度で、信頼性の高い電源が要求されます。加速器科学分野で培った高度な技術開発により、高効率で高安定な電源となっております。
工藤電機株式會社
■本　社　〒982-0034 仙台市太白区西多賀三丁目1番5号
TEL022(245)2141㈹　FAX022(245)2485
■名取工場　〒981-1225 名取市飯野坂三丁目1番38号
TEL022(382)3155㈹　FAX022(382)3124
http://www.kudo-denki.co.jp/

明日に希望をもって仕事する人たちへ、心安らぐひと時を…
気軽で快適に過ごせる空間とサービスを提供する「バリュー・ザ・ホテル」です。
バリュー・ザ・ホテル名取　祝開業
全客室 314室／オールシングル／コインランドリー・自動販売機コーナー／駐車場 180台（平置き）
施工　株式会社山岸工務店
電気・空調・設備工事　共電工事株式会社
基礎・外構・改良工事　株式会社中村土木建設仙台営業所
鉄骨・モジュール建方工事　垣見鉄工株式会社
鋼製建具工事　株式会社不二サッシ東北
内装工事　北成建材工業株式会社
ホテルリネンサプライ　株式会社小山商会
総合飲料オペレーター　仙台ビバレッジ・ネットワーク株式会社
設計・監理　有限会社高階澄人建築事務所
レストラン運営　はぐくむ、大切なことのすべて　SHIDAX
株式会社バリュー・ザ・ホテル
東京本社　〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町15番地 第39荒井ビル2階　TEL 03-5297-8567　FAX 03-5297-8512
仙台支社　〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡1丁目2番10号 エンドウビル5F　TEL 022-292-0901　FAX 022-292-0907
バリュー・ザ・ホテル名取　〒981-1222 宮城県名取市上余田字千刈田555-1　TEL 022-383-8567　FAX 022-383-8569

モノづくりネットワーク商社
株式会社植松商会
〒984-8680 仙台市若林区卸町三丁目7-5　TEL:(022)232-5171
FAX:(022)284-3801
営業所：八戸・宮古・北上・一関・古川・仙台大和・石巻・仙南・福島・原町・白河・宇都宮・横浜事務所
http://www.uem-net.co.jp/

時代のニーズに即応した岩機の製品
アルミ・亜鉛　ダイカスト製品
鉄・ステンレス・チタン　モルダロイ製品(MIM)
岩機ダイカスト工業株式会社
〒989-2204　宮城県亘理郡山元町鷲足字山崎51の2
Eメール　info@iwakidc.co.jp
TEL (0223)37-3322㈹　FAX (0223)37-3720
ホームページ　http://www.iwakidc.co.jp/

最新鋭設備と確かな技術力で
難易度の高い試作・開発品等、
貴社のニーズにお応えします
●産業用省力化機械設置・治工具等の設計・製作
●精密機械部品製造
●精密プレス・モールド金型の設計・製作
●精密金型部品製造
●精密プラスチック成型加工
KYOYU
キョーユー株式会社
本社／〒987-0006 宮城県遠田郡美里町関根字新苗代江149-1
TEL 0229-34-2329㈹　FAX 0229-34-1965
URL　http://www.kyoyu.jp
E-mail　info@kyoyu.jp